

通し番号	4475
------	------

分類番号	21-9C-33-02
------	-------------

(成果情報名) 神奈川県における陸釣遊漁釣獲量の推定
(要約) 本県に訪れている遊漁者は年間120万人にもおよび、この多大な遊漁者による釣獲量はかなり大きいと推定され、環境農政部水産課による遊漁実態調査をもとに、本県における陸釣り遊漁によって釣獲された魚種別の釣獲尾数及び重量の推定を行ったところ、漁種別の釣獲尾数はマアジ134千尾・ハゼ類132千尾など合計981千尾、釣獲重量はボラ類69 t・タチウオ23 tなど合計179 tと推定された。
(実施機関・部場名) 神奈川県水産技術センター・栽培技術部 連絡先046-882-2314

[背景・ねらい]

本県は首都圏に位置し、東京湾や相模湾へのアクセスが良いことから年間120万人の遊漁者を有している。これらの遊漁は漁業と同一の資源を利用し、遊漁釣獲量はかなり大きいと推定され、特に遊漁船については利用した遊漁者の釣獲量の実態調査が行われてきた。

しかし、陸釣りによる釣獲量は、有効な統計が存在しないことや、釣獲される魚体が比較的小さくその数量も少ないと考えられてきたことから、その実態はあまり明らかにされてこなかった。

そこで、神奈川県環境農政部水産課が行った遊漁実態調査の中で、陸釣り調査結果をもとに、本県における陸釣り遊漁の釣獲尾数及び釣獲重量の推定を行った。

[成果の内容・特徴]

- 1 釣獲尾数をもっとも多かったのは、マアジ134千尾、次いで、ハゼ類132千尾、メジナ120千尾、タナゴ116千尾、イワシ類83千尾などである(表1)。
- 2 釣獲重量をもっとも多かったのは、ボラ類69 t、次いで、タチウオ23 t、メジナ19 t、クロダイ18 t、タナゴ11 tなどである(表1)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 陸釣り遊漁者による釣獲量は、メジナやタナゴ、メバルなど漁獲量統計が無く、資源量調査も行われていないため、これらの魚種についての基礎資料として活用できる。

表 1 神奈川県における陸釣り遊漁の魚種別釣獲量及び尾数の推定

魚種名	調査人数(人)	遊漁釣獲尾数(尾)	遊漁釣獲量(kg)
マアジ	10,803	133,797	3,601
サバ類	10,803	11,683	1,605
ブリ	10,803	157	39
ヒラメ	10,803	315	82
カレイ類	10,803	11,953	6,244
アイナメ	10,803	4,920	1,308
カサゴ類	10,803	17,885	1,674
メバル類	10,803	81,873	4,915
カワハギ	10,803	5,460	665
アナゴ	10,803	2,022	135
タチウオ	10,803	2,382	22,731
マダイ	10,803	3,483	309
クロダイ	10,803	19,322	18,014
イサキ	10,803	3,842	162
スズキ	10,803	270	202
ハゼ類	10,803	132,000	2,331
シロギス	10,803	80,885	1,814
アオリイカ	10,803	517	7,582
タコ類	10,803	3,730	194
ベラ類	10,803	19,772	1,548
イシダイ	10,803	13,795	1,096
イシモチ	10,803	5,954	843
メジナ	10,803	119,552	18,574
サヨリ類	10,803	1,505	140
イワシ類	10,803	82,817	929
アイゴ類	10,803	112	32
タナゴ	10,803	116,002	11,175
マゴチ	10,803	1,663	123
フグ類	10,803	11,504	734
ボラ類	10,803	15,907	69,441
メゴチ	10,803	24,602	371

[資料名] 一色達也(2010)：神奈川県における陸釣り遊漁釣獲量の推定、神奈川県水産技術センター
研究報告第4号、15-20

[研究課題] 栽培漁業の事業効果評価手法の開発

[研究期間] 平成21年度

[研究担当者] 一色達也